

# GREEN ニュース

行動する  
環境アドバイザーの会報

第60号

環境アドバイザー連絡協議会  
代表 須永 徹  
平成26年10月発行

## 高崎市内で見られる鷹「チョウゲンボウ」

撮影地、高崎市乗附町碓氷川付近

小型のタカ、チョウゲンボウです。ハト位の大きさですが空中でホバリングして獲物を狙います。電線などに停まっている時に顔を見ると涙を流したような黒い筋が認められます。

タカのような猛禽類は生態系の頂点に立っているとされ、それなりの自然環境が保全されている証拠とも言えます。

安中市のクレ射撃場の裏手の崖には以前タカが沢山いたと聞いたことがあります、近所に鷹ノ巣橋というのがありました。



記：広報委員会 田中和夫

## 群馬県環境アドバイザーの動き (平成26年10月20日現在)

第9期(登録期間:平成24年4月1日～平成27年3月31日)です。新規登録者を含め平成26年10月20日現在男201名女81名、計282名です。



サポセンブログを携帯、スマートフォンで見よう。  
左のQRコードを読み込んでね、スマートフォンの設定でグリーンニュースが見られます。

目次(執筆者)

表紙画像 田中 和夫氏

P2 環境政策課

P3 代表から

P4 ごみ部会

P5 ごみ部会

P6 温暖化・エネルギー部会

P6 自然環境部会

P7 太田地区からの投稿

P8 富岡地区からの投稿



## 「群馬県環境ボランティア団体一覧」に登録しませんか？

### 1. 内容

現在、群馬県環境政策課及び群馬県地球温暖化防止活動推進センターでは、県内の環境ボランティア団体を調査・把握し、一元的な情報に整理してホームページに一覧として掲載し、各団体の活動内容を個別ページで周知して一般県民の参加を呼びかけています。

群馬県環境アドバイザーである皆様も普段活動している団体について、この制度を利用し、広く活動の呼びかけを行いませんか？

群馬県環境ボランティア団体一覧ホームページ <http://www.gccca.jp/volunteer/>

※この一覧ページは「地域で探す」や「活動内容で探す」などの検索機能もついており、ホームページをお持ちでない団体の方も、この制度を利用して情報発信することで、一般県民が参加しやすくなります（連絡先はメールアドレスなどで構いません）。

また、この企画により、これまで参加できなかった人を団体に結びつけるとともに、各地域同士の団体同士を結びつけ、各地域の活性化を促すことも目的としています。

### 2. 調査方法

文書による案内（10月の定例文に調査用紙などの詳細を同封しました）・電話照会、場合によっては現地で調査員が参加するなどの方法により調査を行います。

また、調査用紙は群馬県温暖化防止活動推進センターのホームページからもダウンロードできます。（調査期間は平成27年1月までを予定しています。）

### 3. 調査内容

環境美化やゴミの減量、自然観察など様々な環境活動を対象として、調査項目は団体名、活動地域、活動内容の概要（内容や活動期間）、団体からのメッセージなどを調査しており、この内容がホームページに掲載されます。※個人名や連絡先の非公開も可能です。

### 4. 実施主体

群馬県環境森林部環境政策課（担当：松原）

住 所：群馬県前橋市大手町一丁目1番1号

電話番号：027-226-2821

### 5. この調査に関するお問い合わせ先

**群馬県地球温暖化防止活動推進センター（担当：栗原）**

**群馬県前橋市城東町二丁目3番8号**

**電話：027-212-0909 FAX：027-232-1103**

**E-mail：info@gccca.jp**

## 環境アドバイザーに期待されるもの

群馬県環境アドバイザー連絡協議会

代表 須永 徹

暑かった夏も過ぎ、ようやく過ごしやすい季節になりました。

環境アドバイザーの皆様も、各地域や部会等でご活躍のことと思います。

さて、一人当たりのゴミ排出量が相変わらず減らない状況が続いています。

特に家庭から排出されるゴミをいかに減らすかということが、われわれの活動で最も期待されていることだと思いますが、そのPR活動の一環として「レジ袋削減に関する店頭啓発活動」について県からも協力要請が来ております。アドバイザー各位におかれましては、可能であれば地元のスーパー等に啓発日程等を打合せ頂き啓発活動の実施をお願い致します。(場所や日程等が決まった場合は県の環境政策課 環境活動推進係までご連絡下さい)。

また、家庭ゴミの重量の削減ということについては、“生ゴミの水分を絞る“ということも大きなポイントとして廃棄物・リサイクル課が進めています。これについては既に個々に取り組んでいる消費者団体もあるようですが、まだまだ県内に普及している状況ではありません。私達も家庭内での実践や啓発活動を実施していく必要があると思います。

ゴミ問題だけでなくエネルギーや自然環境保護など、環境アドバイザーの活動に対する期待はますます大きくなっていくものと思います。

皆様の更なるご活躍を期待します。



## ごみの現状打開のために

群馬県環境アドバイザー連絡協議会は今年度も、一人一日当たりごみの排出量ワースト3からの脱却を目指し「みんなのごみ減量フォーラム」を県と協働して開催します。ごみの現状（平成24年度版、最新）を正しく認識し、やる気だけではなく具体的な行動を通して、ごみの減量を実現してゆきたいと思えます。

特に高崎市、前橋市、太田市、伊勢崎市は県の総人口の半分以上を占める都市です。ここでごみの減量を実現できれば、ワースト3からの脱却は大きく前進します。市町村の担当者は、既に行動を始めています。行政だけでなく多くの県民が「生ごみの水切り」などの行動に参加することが必要です。産官学民などあらゆる階層で心ある人たちと協働し、熱き思いを現状打開の力にしたいと思えます。

群馬県ではぐんま3R推進会議を中心に、ごみの減量化、リサイクル率の向上に取り組んでいます。以下は群馬県環境森林部廃棄物・リサイクル課がまとめた資料（群馬県の一般廃棄物の処理状況について）を編集したものです。

### ① 群馬県循環型社会づくり推進計画の目標値との差

区分	単位	実績		
		平成24年度	平成27年度	目標との差
一人一日当たり排出量	g/人・日	1,059	1,000以下	59
リサイクル率	%	15.3	22以上	6.7
最終処分量	千t	97	80以下	17

### ② 一般廃棄物の総排出量

群馬県の一般廃棄物（工場関係の産業廃棄物を除く）の総排出量は約79万t。

平成18年度より6年連続の減少となった。

内訳は、生活系ごみが約59万t（23年度より2千tの減少に留まる）。

事業系ごみが約20万t（産業廃棄物を除く、店舗・事務所等から出たごみ）。

### ③ 一人一日あたりの排出量

群馬県民一人一日当たりの一般廃棄物排出量は1,059g（23年度より17g減少）。

平成18年度より減少傾向にはあるが、全国平均の963gにくらべると96g多い。

47都道府県のうちワースト3位（福島、青森、群馬の順、23年度はワースト2位）。

内訳は生活系ごみ795g、事業系ごみ246gで、特に生活系ごみの減量が必要。

### ④ リサイクル率

群馬県におけるリサイクル率は15.3%（23年度より0.4%増加）。

全国平均の20.4%とくらべ5.1%低い。

47都道府県のうちワースト9位（23年度はワースト8位）。

リサイクル率とごみの量とが反比例するかどうかは、今のところ明らかでない。

ごみの分別や集団回収の一層の促進が必要。

⑤ 最終処分量（埋立て量）

一般廃棄物の最終処分量は約 10 万 t 弱（23 年度より 7 千 t 減少）。

一人一日当たり 131 g（23 年度より 11 g の減少）。

⑥ 処理経費

群馬県において平成 24 年度に、ごみ処理に要した経費は、約 232 億円（23 年度にくらべ約 3 千万円の増加）。

一人一日当たり 11,414 円（23 年度にくらべ 160 円減少）。

（ごみ部会長 山田一朗）

市町村別一人一日当たり排出量・リサイクル率

（平成24年度実績）

一人一日当たり排出量

順位	市町村名	一人一日当 たり排出量(g)	昨年 順位
1	板倉町	570	1
2	甘楽町	572	3
3	昭和村	604	2
4	下仁田町	675	8
5	南牧村	689	7
6	上野村	696	9
7	高山村	703	4
7	明和村	703	6
9	川場村	747	5
10	榛東村	837	10
10	神流町	837	12
12	みなかみ町	886	11
13	東吾妻町	904	13
14	邑楽町	964	14
15	安中市	988	15
16	伊勢崎市	1,002	16
17	玉村町	1,020	17
18	富岡市	1,042	18
19	太田市	1,056	21
	群馬県平均	1,059	
20	前橋市	1,062	22
21	高崎市	1,064	20
22	館林市	1,065	24
23	みどり市	1,073	25
24	中之条町	1,087	19
25	吉岡町	1,089	23
26	長野原町	1,138	28
27	藤岡市	1,142	27
28	沼田市	1,145	29
29	千代田町	1,148	26
30	大泉町	1,161	30
31	渋川市	1,182	31
32	桐生市	1,209	33
33	嬭恋村	1,291	32
34	片品村	1,500	34
35	草津町	2,191	35

市町村別リサイクル率

順位	市町村名	リサイクル 率(%)	昨年 順位
1	板倉町	66.7	1
2	みなかみ町	59.0	2
3	神流町	50.0	3
4	上野村	33.5	4
5	明和町	29.8	5
6	甘楽町	27.2	6
7	藤岡市	21.4	22
8	昭和村	21.3	7
8	館林市	21.3	8
10	太田市	19.9	9
11	南牧村	18.2	14
12	富岡市	17.8	12
13	川場村	17.2	11
14	沼田市	16.8	16
15	下仁田町	16.7	10
16	前橋市	16.6	15
17	東吾妻町	15.8	13
	群馬県平均	15.3	
18	中之条町	14.8	17
19	高山村	14.2	21
20	玉村町	14.0	18
21	長野原町	13.6	24
22	高崎市	13.5	19
23	渋川市	13.4	20
24	安中市	11.8	23
25	伊勢崎市	10.0	25
26	桐生市	9.7	27
26	片品村	9.7	31
28	嬭恋村	9.4	28
28	みどり市	9.4	29
30	吉岡町	9.2	30
31	大泉町	9.0	26
32	邑楽町	8.8	35
33	榛東村	8.5	34
34	千代田町	8.4	33
35	草津町	8.0	35

※一人一日当たり排出量=ごみ総排出量÷総人口(含む外国人)÷365

※リサイクル率(%)=(直接資源化量+中間処理後再生利用量+集団回収量)÷(ごみの総処理量+集団回収量)×100

## 「食とエネルギーの群馬スリム化フェスティバル 2014」に参加しました

9月7日(日)、「食とエネルギーの群馬スリム化計画コンソーシアム」(幹事団体:群馬県地球温暖化防止活動推進センター)が主催する環境フェスティバルがJR新前橋駅近くの有坂中央学園敷地内で開催されました。当部会は、学生、前橋の地域若者会議・行政チームの方々と共同で、子供たちに「公共交通を体験してもらおうツアー」を行いました。ツアーの内容は、スタンプラリーをしながら、バスとJRを利用し新前橋駅～前橋駅間を往復するというものです。



乗車賃とタイムスケジュールを手に出発!公共交通に馴染みのない子供達は、わくわくドキドキです。「バスはまだ来ないの〜?」「『しりとり』しながら待とう!」「お金はどこに入れるの?」「電車って速い。もう着いちゃう」などたくさんの経験と感動をしてくれました。ツアーのゴールをむかえるとCO<sub>2</sub>削減量認定証を受け取り、公共交通の大切さを真剣に聞き、保護者の元へ帰って行きました。大人も子供も初対面同士でしたが、笑顔や会話でたくさん交流できたツアー、フェスティバルでした。

### 環境講座のお知らせ

温暖化エネルギー部会では、子供向けの環境講座を企画しています。お子さん、お孫さんのご参加をお待ちしています。



記

日時:平成26年11月8日(土)10:00~

場所:前橋プラザ元気21 3F

前橋市市民活動支援センター 会議室

内容:身近なもので電気を作ってみよう

(温暖化・エネルギー部会 梅山さやか)

## 自然環境部会便り

高山村の皆様とは環境学習及び里山保全作業を通じてお付き合いが始まった平成19年から数えて7年目となりました。

9月21日の部会に於いて、最近活動内容が少々マンネリ化しているのではないかとの意見が出ました。そこで初心に戻り、当初の純真な気持ちを忘れず新たな気持ちで取り組もう、と話し合いました。

再出発にあたり、作業場所やその内容について地元の皆さんと十分な話し合いを交わす時期ではないかとの提案が多くなされ、現場近くにて打ち合わせ会を行う事に決定しました。

時期は10月中旬又は11月初旬を予定し新年を迎えたいと思っております。今後の会の継続的な発展ができればと考えております。

(自然環境部会長 宮崎 亮二)

## 自然環境「保全」活動は温暖化防止に役立つか？

自然環境部会で高山村の森づくり活動を始めてから、遠隔地からも参加者を募って活動することに疑問をもった。温暖化防止のためには、身近な自然の中で気軽に活動することが望ましいと思ったからである。その後太田市の金山に関連する課と相談して金山の森づくり活動を始めた。山奥の原生林は放置しても自然は保たれるが、里山は放置すれば無残な藪山となってしまう。昔から金山の風景を代表するのは爽やかな風が吹き抜ける松林であった。しかし、枯れて切られる松が増えて松林が次第に藪に変わってしまう。そんな松林にも松の芽生えがある。しかし現状は、幼樹のうちに周辺の雑草とともに刈り払われてしまう。2008年から松の幼樹を育てる活動を始めた。現在は樹高2~3mの松林に育っている。その後、どんぐりを拾って、自宅で植え付け育て、1年半後に金山に植樹する活動も加えた。参加者は多くはないが繰り返し参加する人が増えてきた。便利さを求めるよりも自然の中で汗を流すことに喜びを感じる人たちと判断している。

昨秋から今年にかけて IPCC の報告書が相次いで発行された。悲鳴にも近い内容だったが、政界、財界は全く反応しなかった。メディアも単純に報道するだけで、政財界に活動を促す記事は見かけなかった。温暖化防止や自然保護が困難な問題であり、票につながらないこともわかる。私は政、財界に見捨てられたと思った。でも諦めることはできない。集団で活動するだけではなく、個人の生活の中で実行できることは山ほどある。3Rを忠実に実行することが大切である。私はその中に Return (身近な自然への回帰) を加えて 4R 活動を推奨する。経済 (Economy) は自然の生態系 (Ecosystem) が基礎になっている。経済は自然を越えることはできない。経済成長優先では温暖化防止も自然保護も進める事が難しくなる。

(太田地区 飯塚絃一)

## 富岡地区の活動状況

平成 25～26 年度の活動状況は下記のとおりです。

### 1. 地域環境学習の開催

今年度は、10月10日に、市の施設である「あい愛プラザ」の太陽光発電施設の見学説明会を行いました。地球温暖化防止に自然エネルギーの利用促進を図るべく、市環境課の協力のもとに開催しました。

### 2. 「富岡製糸場」敷地内の除草作業を予定

新たな取り組みとして、今年度、世界産業遺産となった「富岡製糸場」の内部敷地の除草作業を予定しています。

### 3. 富岡ブロック例会の開催

例会は隔月に開催、環境関係の勉強会を実施。講師は会員が得意分野を受け持ちます。外部より講師を招くこともあります。

### 4. 環境学習サポーターとしての活動（吉田・市川・肥田・今井）

富岡西小・新屋小・福島小、各校の5年生・6年生を対象に「水・大気・温暖化」の学習を行いました。



（動く環境教室の授業風景）

### 5. 群馬県地球温暖化防止活動推進員としての活動〔出前講座の講師〕（吉田）

昨年に続いて、市の「いきいき健康教室」で、市健康福祉部高齢介護課から群馬県地球温暖化防止活動推進センターに依頼のあった「温暖化・節電・省エネ」の出前講座を市内の6会場にて実施しました。

「節電・省エネ出前講座」の様子  
（富岡市宇田集落センター）



一緒に活動する環境アドバイザーの登録を呼びかけていますが思うように増えないのが悩みです。

（富岡地区 吉田 孝）